

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

残暑厳しい日々が続いておりますが、皆様に於かれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、新型コロナウイルス感染症の脅威が1年半以上も続いておりますが、供給体制に不安は残るものの、感染防止の切り札となるワクチン接種が現役世代においても始まっており、希望者全員が早期に接種できる事を期待しております。

また、この難局を乗り越えた後の成長戦略についても早急に取り組むべきタイミングに入ったと感じておりますが、様々な政策の中でも、今回はカーボンニュートラルへの取り組みについて触れたいと思います。

今年も熱海において大雨に伴う土石流により、多くの人命が失われるという悲惨な災害が発生してしまいましたが、世界的にも異常気象が多発する中、脱炭素化は待ったなしの課題であり、同時に気候変動への対応は、我が国経済を力強く成長させる原動力にもなります。

こうした背景のもと、国は昨年10月に「2050年カーボンニュートラル宣言」を発表し、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目標としておりますが、本県においても「あいち地球温暖化防止戦略2030」に基づく取り組みに加え、新たに戦略会議を設置し、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを検討し、具体的なプロジェクトの創出を目指す事としております。

残念ながら現時点において、本県の温室効果ガス排出量は全国ワースト1位であり、その排出量の約半分を産業部門が占めていますが、産学官連携のもとカーボンニュートラルを実現する事が出来れば、この地域の更なる発展に結びついていくと思っておりますので、今後は戦略会議の活動内容をフォローし、議会での提言活動に繋げてまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 